

2017年11月2～4日 四日市東日本大震災支援の会 第49回派遣 福島県葛尾村 感謝祭ボランティア 活動報告

2017年12月1日
四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

支援の会が継続的に支援をしている福島県葛尾村で開催される「かつらお感謝祭」に参加しました。帰村に向けた準備が進む中で、7年ぶりに復活開催がされる感謝祭で、屋台の手伝い、ゆるキャラ運営手伝いをしました。

福島県葛尾村；原発事故で村民全員が損害に避難し、昨年避難指示が解除されましたが、多くの方がまだ仮設住宅などで避難生活をしています。

<活動概要>

■感謝祭の手伝いボランティア

参加者 8名：四日市大学学生3名、教員1名、看護医療大学学生1名、名古屋女子大学学生1名、愛知学院大学学生1名、<現地参加>卒業生1名、宮城県の支援の会メンバー1名

費用負担など

大学生14,000円（現地参加5,000円）

- ★参加費には、往復の移動、現地での宿泊費(素泊まり)が含まれます
- ★食事は各自負担
- ★宿泊；せせらぎ荘（葛尾村）夕食支給

<スケジュール概要>

★11月2日（木）

22：00 大学出発⇒22：15 近鉄富田駅⇒川越IC

★11月3日（金・祝日）

7：30 葛尾村到着⇒イベント手伝い

夕方：葛尾村内の宿泊施設「せせらぎ荘」に素泊まり

★11月4日（土）

午前中は葛尾村、富岡町、南相馬市の視察

10：00 南相馬IC⇒常磐道⇒圏央道⇒新東名

21：00 大学帰着



葛尾村では避難指示が解除され久しぶりに村内で感謝祭が開催された。



支援の会では、感謝祭を盛り上げるため、屋台とキャラクターの手伝いをしました。



放射線線量の計器が村内各所に設置されており、宿泊した村内唯一の宿舎敷地内は $0.307 \mu\text{Sv/h}$ 。



校歌録音プロジェクトに参加したメンバーが葛尾小学校の校歌記念碑の前で合唱しました。

<http://www.katsurao.org/site/es/es-4001.html>

(葛尾小学校児童と暁学園合唱部による校歌：葛尾村公式サイト)